

③ 揖斐地域			
<p>■ 該当市町村</p> <p>揖斐川町、大野町、池田町</p>		<p>■ 区域</p> 	
■ 景観上の特性			
<p>地形・自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の北部には伊吹山地、美濃越前山地の山並みが広がる。 ・ 横山ダム湖の大水面も見られる。 ・ 中央部を揖斐川が南北に流れており、山間部には水と緑の美しい揖斐峡が位置する。 ・ 地域の南部には、濃尾平野が広がっている。 	<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山間部には、豊かな自然と融合した集落地が形成されている。 ・ 平野部では、背景の山並みと一体となった田園が見られる。 ・ 南部の集落地には、落ち着いたまち並み、水路と共存する住宅地等が見られる。
<p>軸線</p>	<p>地域の骨格を形成する軸線として、次のものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川：揖斐川 ・ 道路：国道 303 号、417 号 ・ 鉄道：近鉄養老線、樽見鉄道 		

■ 景観構造図

揖斐地域



凡例

- | | | | | | |
|---------|-------------------|----------------------|------|-------|--------|
| ■ 山間エリア | ■ 谷・盆地エリア | ■ 平野エリア | ■ 河川 | ● ダム等 | ● 河川景観 |
| — 鉄道 | — 高速道路 | — 国道 | ▲ 山 | 山並み | |
| ○ 自然公園 | ○ 田園・群生地等、大規模開発地等 | ● 歴史・伝統文化的要素、その他の拠点等 | | | |

■景観形成方針

①揖斐峡周辺の河川景観の保全

- ・山間部の揖斐峡周辺は自然公園に指定されており、春の桜やコブシ、秋の紅葉が美しく、河川沿いの傾斜地の緑と一体となった美しい河川景観が形成されている。また、上流には横山ダムの大水面もみられ、さらに上流には徳山ダムも建設されている。
- ・この美しい山の緑と一体となった河川景観の保全を図る必要がある。

揖斐峡



②揖斐川の美しい水と緑の河川景観の保全

- ・地域の中央部を南北に流れる揖斐川は、全長が比較的短く、勾配も急で流れも速いため、中流域の川原にはごつごつとした岩が多く、緑が少ないが、揖斐川河川公園等では河川沿いの桜並木や芝生の整備などが進められ、良好な河川景観が形成されている。
- ・このような美しい水と緑の河川景観の保全が必要である。

揖斐川



③山並みや田園と調和した集落地の景観の形成

- ・大野町の集落地では昔ながらの様式の建造物の残る落ち着いたまち並みが見られ、桂川周辺の集落地では水路と共存する住宅地の景観が見られる。
- ・このような集落地の景観を活用しながら、背景の山並みや周辺の美しい田園と調和した集落地の景観の形成が必要である。

大野町の集落地



④池田山麓における緑豊かな自然景観の保全

- ・地域の南部に位置する池田山麓においては、桜が美しい国の名勝天然記念物である霞間ヶ溪をはじめ、扇状地を取り囲む丘陵地の緑地等、緑豊かな自然景観が形成されている。
- ・これらの池田山麓の緑地の保全を図るとともに、その周囲にある揖斐川、粕川等の河川及び市街地周辺の農地等の保全を図り、池田山麓一帯の緑豊かな自然景観の保全を図る必要がある。

霞間ヶ溪



⑤地場産業を活かした景観の形成

- ・大野町は、我が国有数のバラ苗の産地であり、バラ公園の整備や街道沿いの花飾りなど、地場産業を活かしたまちづくりが進められている。
- ・これら地場産業を活かした景観形成が必要である。

バラ公園



⑥周辺の自然と一体となった歴史的景観の保全

- ・揖斐城跡や、県内有数の古墳群である野古墳群や願成寺西墳之越古墳群等の史跡など、貴重な歴史的資源が多く残されている。
- ・これらの周辺では田園や茶畑等の自然的な土地利用がされており、歴史的資源と周辺の自然と一体的な保全を図ることにより、歴史的景観の保全が必要である。

野古墳群



⑦谷汲の門前町を活かした景観の形成

- ・揖斐地域の北部の山間部には、西国三十三カ所の満願霊場である谷汲山華嚴寺や両界山横蔵寺等の歴史的な寺院が残されており、ここを中心とした門前町では、参道の桜や紅葉など周辺の自然環境と調和した景観が形成されている。
- ・これらの歴史的な寺院と周辺の自然の調和した景観の保全を図り、谷汲の門前町を活かした景観の形成が必要である。

両界山横蔵寺



⑧歴史的な様式の建築物を活かした景観の形成

- ・揖斐地域は平地が少なく、谷に沿って吹き荒れる台風や、敦賀湾より吹き込む冬の雪や風から建築物を守るために、防風林や風向きに逆らわないようにつくられた茅や麦わらで葺かれた入母屋造り農家が集落に残っている。
- ・これらの歴史的な様式の建築物の保存を図り、これを活かした景観の形成が必要である。

茅葺き入母屋農家

